

外部との連携

スマートシティ会津若松への参画

会津若松市は、産官学民の連携のもと「スマートシティ」に取り組んでおり、デジタル・ICTを活用した先進的なサービスが構築されています。

当社は、新たなサービスの検討やイノベーション創出、地方創生の取組み等にかかるノウハウ蓄積を目的として、多くのICT関連企業が入居する会津若松市のICTオフィスビル「スマートシティAiCT」に入居しています。

ICTを活用した生活の利便性向上のために、他企業等との連携も視野に、今後実証実験に取り組む予定です。

弘前大学・株式会社ミルテルとの共同研究

弘前大学は、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する研究開発支援事業「革新的イノベーション創出プログラムCOI STREAM」に採択され、健康ビッグデータを活用した病気の予兆発見の開発や予防法を開発する研究とビジネス化に取り組んでいます。

当社は2019年1月から、広島大学発のベンチャー企業である株式会社ミルテルおよび弘前大学と共同研究を開始し、「みんなの健活プロジェクト」の価値向上に資する取組みとして、「未病の定量化」や「未病教育」に関する共同研究に取り組んでいます。

国立循環器病研究センターとの包括連携協定と共同研究事業契約の締結

当社とグループ会社である明治安田総合研究所は、人生100年時代における健康寿命のさらなる延伸をめざし、国立循環器病研究センターと包括連携協定を締結しました。さらに、金融機関として初めて共同研究事業契約を締結しました。

オープンイノベーションセンターでの共同研究

当社と明治安田総合研究所は、共同研究事業契約の締結により、国立循環器病研究センターのオープンイノベーションセンターに入居し、データ解析等を通じた循環器疾患の発症予測・重症化予防モデルの研究開発、循環器疾患の早期発見につながる調査等の共同研究に取り組むことで、生命保険事業として人々が健康で安心して暮らせる社会に貢献してまいります。

(主な研究内容)

- ①民間で活用できる循環器疾患発症予測モデルの開発
- ②生命保険の引受範囲拡大にかかる調査研究
- ③上記知見を踏まえた循環器疾患の啓発ツールおよび早期発見サービスの調査研究



2021年3月24日共同記者会見
(左から3番目より)
明治安田総合研究所 永田代表取締役社長、
国立循環器病研究センター 小川理事長、
明治安田生命保険相互会社 根岸取締役代表執行役社長、
中村常務執行役
(注) 役職は2021年3月24日現在



オープンイノベーションセンター
所在地:大阪府吹田市岸部新町

新たな価値の創造に向けた調査・研究—明治安田総合研究所

1991年7月に設立された本研究所は、2019年4月および2020年4月に調査・研究領域を拡大し、ヘルスケア、デジタル技術、社会構造、経済環境、規制動向等、明治安田生命グループの調査・研究機能を幅広く担うシンクタンクとなりました。テクノロジーの進歩や社会環境の変化をはじめとして、当社を取り巻く環境の不確実性が増すなか、グループとして機動的かつ柔軟な対応ができるよう、外部機関との連携等も通じて、幅広く世のなかの動向を調査しつつ、研究を行ってまいります。